

～ 未来への県土づくりへ “つなぐ” 復興の架け橋 ～

(仮称)今泉大橋 NEWS

【Vol.2】

令和2年7月発行

編集：岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター



岩手県が「まちづくり連携道路」として陸前高田市で事業を進めている一般国道340号（仮称）今泉大橋工区について、「事業の見える化」の取組みとして、当事業の概要、現在の進捗状況等についてお知らせします。

一般国道340号（仮称）今泉大橋工区（L=2,600m）は、東日本大震災津波で被災した陸前高田市今泉地区と高田地区の地域間を結び、一般国道45号から三陸自動車道 陸前高田インターチェンジ間を安全かつ円滑に連絡することを目的とした事業です。

当工区の主要構造物である（仮称）今泉大橋（L=280.3m）については、平成28年度から橋梁下部工工事に着手し、令和2年5月末までに7基（A1、A2橋台含む）が完成しており、現在は、橋梁上部工工事の架設工が進捗しています。

送出し架設については、手延機や推進ジャッキ等の特殊な機材を用いて、気仙川の左岸側から114mの距離を、およそ1週間かけて、安全に配慮しながら橋桁をゆっくりと送り出しました。

今後は、高水敷部分の架設と床版工事のほか、橋梁前後の道路改良工事等を進め、令和2年度末の供用に向け、安全に万全を期し工事を進めていきます。

送出し架設工 施工状況(6月23日時点)



送出し架設工 施工状況(6月27日時点)



【橋梁上部工工事】 施工者：北日本機械(株)・(株)中央コーポレーション特定共同企業体

工事の進捗状況 (送出し架設工)

事業概要図



令和2年7月3日 大船渡・宮古土木センター職員を対象とした合同現場研修会を開催しました！！

令和2年7月3日(金)に沿岸広域振興局土木部大船渡・宮古土木センター職員を対象に、当該工区の工事進捗の把握及び土木系技術職員の技術力向上を目的として合同現場研修会を開催しました。当日は3密を避けるため一定の距離を空けながら、担当職員や工事関係者からの説明に真剣な眼差しで耳を傾けていました。

研修会では、当該工区のほか、高田松原津波復興祈念公園や高田海岸砂浜再生事業の見学も併せて行いました。県では今後も、技術の継承や復興事業で培ったレガシーを共有しながら、未来の県土づくりへつないでいきます！！！！



工事の説明を聞く参加者



集合写真

【問合せ先】

岩手県 沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター道路整備課
〒022-8502 岩手県大船渡市猪川町字前田 6-1
電話番号：0192-27-9919(内線 266)

